



21日(火)午前中、地域の「緑の会」の皆様8名が学校へ来てくださり、運動場のツツジ類(サツキやツツジ)を中心に枝木の剪定をしていただきました。ツツジ類は、鬼ごっこやかくれんぼをするには最適で、朝休みや昼休み、20分休みになると、子どもたちはそのそばに集まり、走り回っている姿があります。8月の長雨で枝木がだいぶ伸長し、学校が再開された時に子どもたちが身体をひっかけて傷を負わないかと気になっていたところでした。「緑の会」の皆様には、枝木をバリカンや剪定バサミできれいに刈り込んでいただき、とてもさっぱりした状態になりました。

「緑の会」や「園芸ボランティア」、地域自治会役員の皆様には、いつも学校のことを気にかけていただき、とても感謝しています。皆様のお力添えがあるからこそ、子どもたちが穏やかにスルスクと心豊かに育っていただけるのだと感じています。きれいな学校環境が、きれいな学校環境を整えようとしてくださる地域の皆様の姿や心が、子どもたちの健やかな心の成長に大きな影響を与えているのだと捉えています。

コロナ禍でさまざまな活動が制限される中、皆様のご厚意は本当にありがたい限りで、教職員、児童一同、大変感謝をしています。今後とも、どうぞ変わらぬご支援をよろしくお願いします。
※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



夏休み校内作品展を行いました。

22日(水)、24日(金)の2日間、夏休み校内作品展を行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、保護者の皆様には、実際に子どもたちの作品を見ていただく事ができませんでした。力作が揃っていましたが、見ていただくことができず本当に残念です。

今年はオリンピック・パラリンピックが開かれたこと、SDGs(持続可能な開発目標)が報道で取り上げられるようになったこともあり、「東京オリンピック日本代表結果」「どんな色でもいいじゃない～世界は1つ～」「考えてみよう!始めてみよう!僕らのSDGs」「未来を創るSDGs」といった題名の作品が展示されていました。五輪は世界の五大陸を意味していることや、赤色が火、青色は水、緑色は木、黒色は土、黄色は砂を意味していることが紹介されていました。SDGsは2030年までに達成をめざす17の世界的目標で、日常生活の中で、私たちができることから始めることが大切なことや身近な実践事例が紹介されていました。また「夜空に見える花火」「つまようじで作った花火」といった作品も展示されていました。



現在、コロナ禍において、夏の風物詩である花火もなかなか見られなくなっている状況があります。子どもたちの「花火を見たいなあ」という気持ちが伝わってくるような作品でした。

コロナ禍における運動会(11月16日(火))、当日の日程について

詳細については現在検討中ですが、決定している概要についてお知らせします。

- 運動場を順番に2学年ずつ入れ替え、きょうだい学年(1,6年、2,5年、3,4年)で使用し、午前中のみ開催とします。
- 保護者の参観につきましては、感染症対策を講じた上で入場制限を設け、参観していただく予定です。人数制限については、現在検討中です。詳細については後日連絡させていただきます。

職員の交代があります。

9月末をもって、特別支援教育支援員の坂口莉沙(さかぐち りさ)先生、スクール・サポート・スタッフの伊藤由美(いとう ゆみ)先生が退職されることになりました。坂口先生に代わっては、嘉成由美子(かなり ゆみこ)先生が10月1日(金)から着任されます。伊藤先生との交代の方は現在未定で、後日学校だより(ひょうたんいけ)で、紹介させていただきます。(文責 北住 昌文)